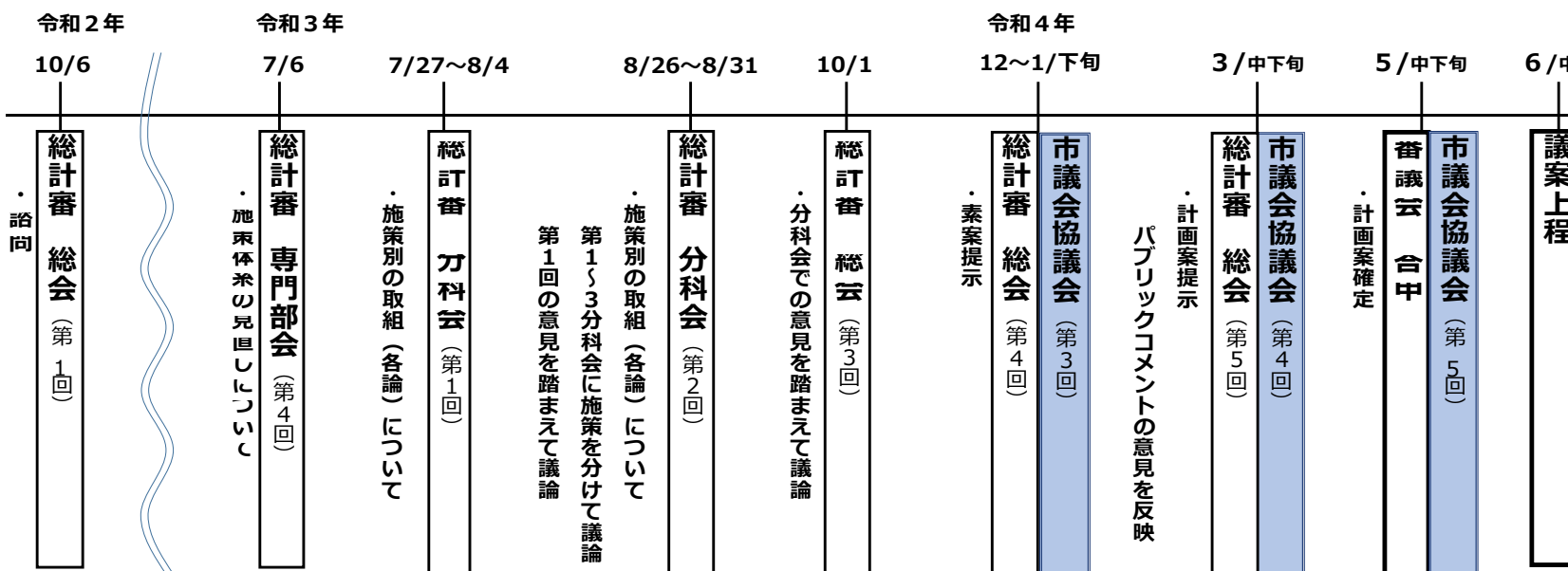


第6次尼崎市総合計画と各分野別計画との関連について

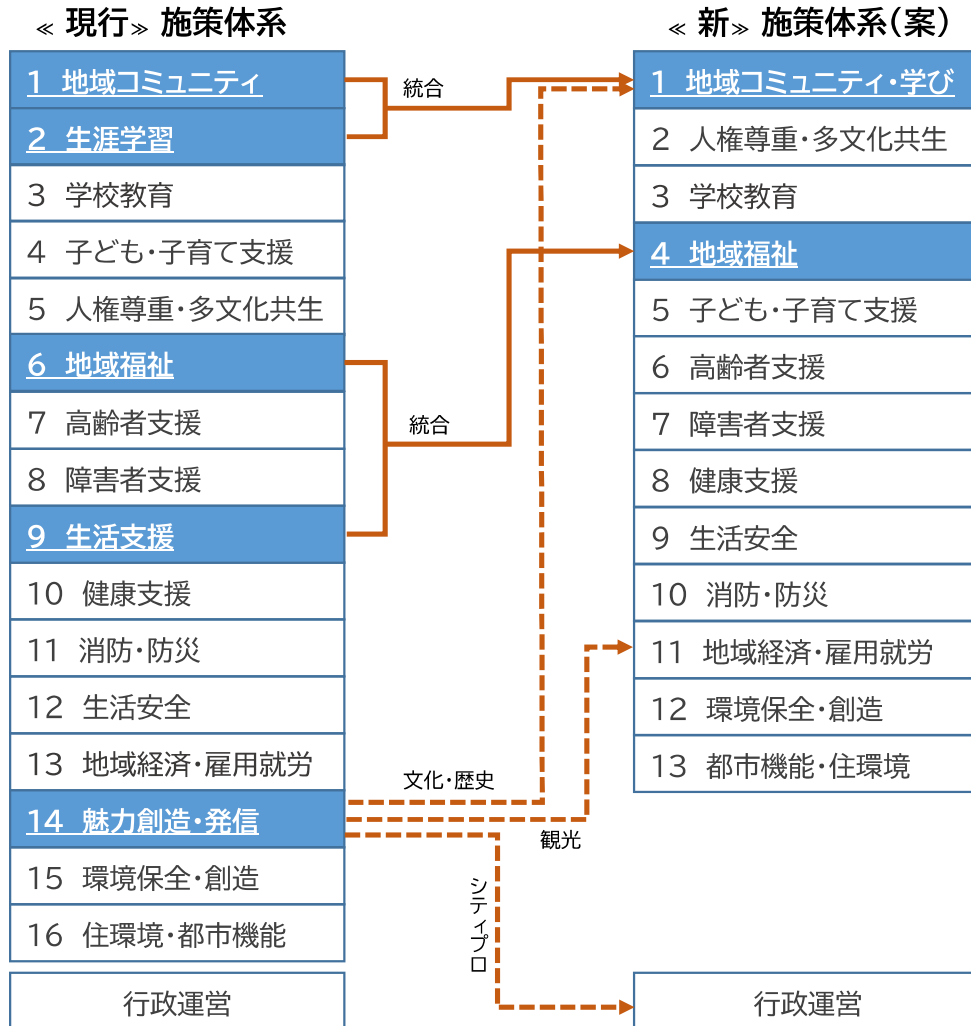
- 令和4年度末をもって現行の第5次総合計画が計画年限を迎えることから、現在、総合計画審議会に総合計画の策定について諮問し、検討を進めている。
- 総合計画は、目指すまちの姿を掲げ、計画期間中の主要取組項目や各施策の取組の方向性を示す全施策横断的な横串の計画であることから総合計画と各分野別マスタープラン（各施策の最も基本的な計画）との整合性を図ることが重要と考えている。
- 特に、現在、施策間の連携を重視した取組を進めている本市においては、総合計画の検討にあたっては、各施策の分野別マスタープランを所掌する審議会にもご確認いただくなかで、進めていきたいと考えている。
- 総合計画審議会での審議、庁内における検討が進み各施策についての記載内容が一定固まってきたことから、素案前のこの段階において、その内容を各分野別マスタープランとの整合性などの視点から各審議会にご確認いただきたいと考えている。
- 今後、各審議会からいただいた意見等を踏まえるなかで、総合計画素案を策定し、パブリックコメントを実施していく予定としている。

第6次尼崎市総合計画策定に向けたスケジュール（各論の審議を中心）



施策体系の見直し

資料⑥



「施策の統廃合」

【1 地域コミュニティ・学び】 自治のまちづくりのさらなる推進
自治のまちづくりのさらなる推進に向け、現計画期間で取り組んできた新たな地域振興体制をもとに、地域コミュニティを活性化していくにあたり、生涯学習(学び)をツールの軸として取組を進めるため、「地域コミュニティ」と「生涯学習」を統合。

【4 地域福祉】 重層的支援体制の充実化
地域福祉の課題解決は、自助、互助、共助、公助によって進めていくものであり、重層的支援体制を充実させ一体的に進めていくため、公助である生活保護等が含まれる「生活支援」を「地域福祉」に統合。

【14 魅力創造・発信(廃止)】
・シティプロモーションの一環として位置付けていた『文化・歴史』を、文化や歴史の持つ「学び」の要素を重点化し、地域コミュニティの発展につなげるためのものとして、「地域コミュニティ・学び」へ整理。
・『観光』を地域の稼ぐ力の向上による地域経済の活性化へつなげるため、「地域経済・雇用就労」に整理し、一体的に取組を進める。
・『シティプロモーション』を行政職員が携わるあらゆる事業において、シティプロモーションの視点をもって業務に臨むべきものとし、行政運営へ整理。

※ 現時点の検討状況であり、施策の順序等も含め変更の可能性あり